

お手軽ヒーロー活動

むつ市立関根中学校 3年 鳴海 綺音

赤い羽根共同募金が福祉活動に役立てられていると知ったのは、私が中学生になり、募金活動のたよりを制作したときです。「だれかのためになるんだろうな。」と、漠然とした認識しかなかったこの募金について、知らないまま活動するのはだめだろうと考え、詳しく調べたことを今でも覚えています。

私はそれまで、さほど募金活動に関わることはしていませんでした。限りあるお金を見ず知らずのだれかのために使うことは少しもつたいないとすら思っていました。

しかし、調べてみてそれが大きく変わりました。募金の使い道のなかにボランティア活動の文字を見つけました。このとき、テレビで報じられたボランティアの映像が頭に浮かびました。名も知らぬだれかのために街頭に立って募金活動をしている人達の姿が鮮明によみがえりました。ヒーローのように見えました。そうしたヒーローの助けになるのであれば、私も協力してみようと思いました。

赤い羽根募金の使い道はボランティアだけではなくありません。高齢者福祉や障がい者福祉や子どもたち、災害の対策など、大勢の人の助けになるように使われています。自分が直接助けられない人でも遠くから支援することができるのがこの募金の特徴です。お手軽だけど重要なまさにヒーロー的活動のように思えてきました。

そんなお手軽なヒーロー活動によって集められた募金実績は全国で160億円以上となっています。この金額にも驚きました。普段見ている募金箱に入っているのはほとんど小銭で、せいぜい千円札がたまにあるくらいです。しかし、全国から集めるとこんなに大きな金額になることに驚きと喜びを感じました。金額に違いはあっても、たくさんの方が協力している事実がよくわかりました。

私の学校での赤い羽根共同募金でも運動期間中には毎日必ずだれかが募金をしてくれます。募金した際に配られる赤い羽根はヒーローの証です。見知らぬだれかのために自らすすんで行動をしたという証です。

赤い羽根共同募金に協力したからといって、必ずしも自分に恩恵があるわけではないと考える人もいるかもしれませんが、でも、困っている誰かの助けになることだけは確かだし、それによって幸せが自分にも巡り巡ってくると考えるべきです。1円でも10円でもいい。わずかそれだけと思うような額でも、たくさんの方が取り組めば大きくなります。募金はほんの小さな優しさの積み重ねで成り立ちます。だからこそ、ヒーロー活動と私は認めます。